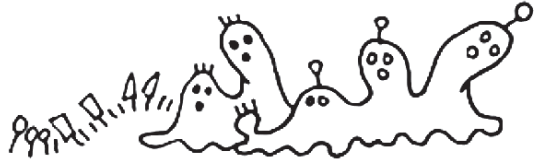


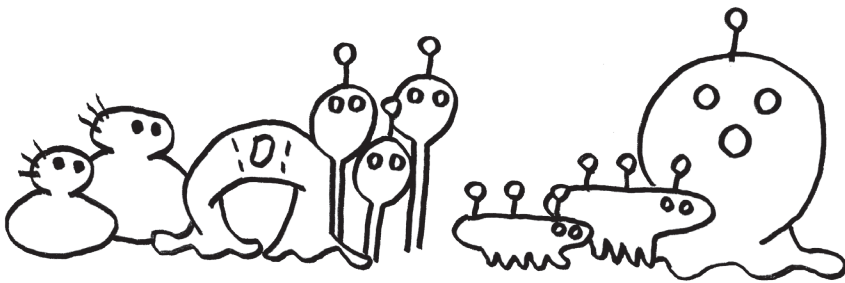
全国の対話と物議の土壌をかもすニュースをお届けします

かもす通信

はたらく女性の全国センター（ACW2）



イラストレーション/ナガノハル



もくじ

02 | 働く人の豆知識 傷病手当金の継続給付制度
を知っていますか？

03 | 差別や支配のない、誰もが大事にされる職場を

04 | 脱コルセットまでと、祖母のこと、これから

07 | バアテ・シロタ・ゴードンさんをご存知ですか

08 | ひとことメッセージ

12 | 活動報告(8~9月)

13 | 編集後記

14 | 2025年 相談員トレーニングの案内

16 | 小グループ活動の連絡先

傷病手当金の継続給付制度を知っていますか？

雇用されて働いている人で、社会保険に入っている人が、仕事が原因以外の病気やケガで仕事を休むと受けれるのが傷病手当金です。傷病手当金については、ほとんどの人は知っていると思います。

ただし、退職時に傷病手当金の支給を受けている（受けられる状態であった）場合には、支給開始日から1年半の範囲内で健康保険の資格喪失後も引き続き傷病手当金を受けられることをしていますか？

受けるためには、被保険者期間が資格喪失日の前日までに継続して1年（任意継続被保険者であった期間は含まれません）以上あることが必要です。被保険者期間1年以上は、一つの会社でなくて、2つの会社の間が1日も空かずに加入している場合でも認められます。

先日の労働相談で、傷病手当金の継続給付について知らない方がいらっしゃったので、説明したところ、ギリギリ請求できました。請求は退職日から2年後の「前日」までにする必要があります。例えば、2022年3月31日に退職した人で、条件に当てはまる人が、傷病手当金の継続給付を請求するのを忘れていた場合は、2024年3月30日に請求すれば受給できる可能性があります。

病気やケガをして会社を辞めることになり、生活の不安の中にいる時に、いろいろ調べることは難しいので、知っておいてもよい情報ではないかと思っています。

また、「継続給付制度」は他に出産手当金、出産一時金、埋葬料（費）もありますが、それぞれ条件が異なるので、思い当たる方はご自身で調べてみてください。

全国健保協会の山形支部の説明がわかりやすいです。下記の URL へ。

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/yamagata/cat080/kenkouhokenkeizokukyuufu/>



- 働く上で、こんなことが知りたい!! わからない?等疑問、質問がありましたらぜひお寄せください。
(ホットライン担当：社会保険労務士・佐崎和子)

差別や支配のない、 誰もが大事にされる職場を

私の退職1年前に自死された同僚の、ご遺族が起こされていた裁判が和解となった。自死から9年、提訴から3年である。「なぜ夫が死ななければならなかったのかを明らかにしたい」「少しでも職場の労働環境の改善につながれば」。そんな思いを語って下さったご遺族の、ご希望が果たされたかどうかは伝わってこない現状で、今、どんな気持ちでいらっしゃるのかわからない。が、和解を告げるマスコミ報道で、初めて遺書の全文を目にした私の脳裏には、自死の第一報を聞いた日からの職場の状況、当局の対応、当局の対応に対するご遺族の怒りと涙、そして私の退職後も、公務災害の申請や裁判の折に触れてうかがったご遺族のお気持ちが、走馬灯のように浮かんでくる。

私は在職中、職場の差別と人権委員長として、職場のセクハラ規程策定の役割を担った。ともすれば、形式的な規程で事足りりとする風潮もある中、実質的に機能する規程にしようとして、職場の各職種や諸層から策定委員を募り、一番弱い立場にある人たちが実際に声を上げられ救われる規程にすべく、みんなで知恵を絞った。ハラスメントが多く、職種間の上下関係がある職場を何とかしたいと考えた策定過程と内容だった。できた規程の概要は、職場のすべての構成員に行き渡るよう、毎年予算を取ってリーフレットを作り、新しく入ってくる構成員にも配った。幸か不幸か相談や訴えは次々に出され、本務をくうほど私はその対応に追われた。それでも、声を出しにくい層が信頼して声を上げてくれ、ガイドラインや規程にそった対応で笑顔を取り戻すのを見るのは、何ものにも代えがたくうれしいことだった。

残念ながら職場の体制が変わり、互選による差別と人権委員の選出が当局の指名になった。上層部を守るための人選のような委員会に訴えや相談は出されず、ハラスメント全般に広げられた規程の、新たな構成員への広報も途絶えた。そんな体制が当たり前となった

職場で起こった自死だった。悲鳴のような遺書の言葉を読んで、届いたかどうかはわからないけれど、あの時の私たちの努力が少しでも生かされていたら、と改めて無念さをかみしめている。ご本人はもとより、ご遺族が失ったものの大きさに改めて言葉を失う今、差別や支配のない、一人一人が大事にされる職場を、と強く念じている。 中藤洋子

※DVのワードが出てきます。刺激されそうな方は読むのを避けるか、ご自身で判断してお読みください

脱コルセットまでと、 祖母のこと、これから

脱コルセット…社会から求められる女性らしさから自らを解放することを目的とした韓国の運動である。(wikipedia) 私は髪を短くしたり基本ズボン、自称おれということも。女性は賃金が安いのに、服やコスメにお金を使い、それは男の経営者の懐に入る。その搾取に抗う。おしゃれすることで他の女性をおびやかすことがあるので、威嚇しないようにする。

パーマをあてたいけど、高いし髪が多いのでヘアアイロンがほしくなりました。髪が短いので直径2センチくらいの細いやつ。ストレートアイロンは持っています。ショートヘアがパーマ風になるやり方をYouTubeでみてやりたくなったから買ったけど全然できませんでした。練習しないとむりそう。10年程前にかんざしで夜会巻きとか、いろんなアレンジができるようになってうれしかったです。髪が多くてもできるんだと発見してとてもおどろきました。若いときに親に禁止されていたピアスも30代なかばであけました。そのあと、40代はじめに脱コルセットでずいぶん精神的に楽になったとおもうけど、たまにはおしゃれもいいかとおもいます。

ルッキズムのシンポジウムで、テスト前にお人形の絵を見せたら成績が下がるという話

を聞いて衝撃を受けました。自分が女だと意識するとそうなる傾向があるという…。

服もアクセサリも膨大な数だったのでずいぶん処分してまだまだあります。着物にも挑戦して…って果てしなかったです。ハンドメイドもしてるから、すごいむだなことしてた!? 20代のとき縫製の職業訓練校に通い、アパレルの仕事をしようとしたけども、無理でした。失業してからは、ファッション雑誌に載るような職業は、裕福なセレブがやることではないか…と思いました。業界人で貧困層出身の人はどれくらいいるのか。

去年は「メイド・イン・バングラディッシュ」という映画で工場働く女性を搾取する多国籍企業のアパレルの問題をみて、おそろしくなりました。役所が企業と結託して労組を作らせないみたいです。

でも、努力して搾取しない服作りをする人たちがいることも、テレビ番組で知りました。

服や美容より本や勉強にお金と時間をかけないといけなかった！若いときを無駄にしました。本当ならば海外旅行もいけて、運転免許も持ってまっとうな仕事につけていただろうに…。

祖母は101歳で8月に亡くなりました。暑い夏を乗り越えられなかったです。もっと楽しく長生きできたらよかったのに、し尿の臭いがする特養で11年もいて退屈だったはず。虐待してくる母との介護が嫌すぎてあまり力になれませんでした。

祖母は性的DV、経済的DVをうけていました。家にお金を入れない夫に働くのを禁止されて、精神的DVもうけていたし、何回も中絶してもう思考停止していたのかもしれないです。DV後遺症なのか、娘(私の母)にも虐待もしました。祖母が子どもの時、母からネグレクトされたようです。戦時中19歳でよく知らぬ30歳の男と結婚して故郷を離れました。もう数年早ければ児童婚のような。当時でも親戚の女の人にはその年の差に、いやらしいと違和感を持つ人もいたそうです。祖母の体は健康な方だけど、精神的な問題が大きかったです。でも園芸、書道、編み物と趣味をいくつかしてて、上手でした。いつもたくさん安い服を買って、着ていました。ユーチューブで賃金払ってるのかって言われていた関西ファッション連合の激安の服の店へ毎日のように足を運んでいた。店員しか話す人いないから。はたからみたら気楽な主婦の娯楽に見えるけど、閉じ込められた末のわず

かな生きがいでしょう。あと毎日朝昼晩とサスペンスや時代劇をみていた。今なら退屈でお金もなく刺激もない人の生活だということがよく分かります。自分は結婚したことないけど、祖母と似たような空虚な生活をしています。祖母は商業高校でそろばんをしていたので3桁以上の掛け算やら割り算も暗算をして周囲を驚かせました。そんな能力あるのに外で賃労働はできなかった祖母。自分もなにか身につけたい。家政学とか、語学とかです。何から始めればよいのかわからない初心者。できればSTEM (Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学)) を身につけ、アラブの女性たちのように外国へ逃げたい。日本で貧困で、職歴学歴ほぼなしの低スペック、病弱なシニア直前の女。先進国といっても下層の人らを犠牲にする国。先進国だからとユニセフもアムネスティも日本の人は助けない。下層階級 (日本に階級はないですが) にとって、先進国もなにもないきがるが。

苦手な歴史も勉強せねばならないし…。通信制高校いかないといけないか。学び直し、だるいです。家庭の環境が悪いのもあり、高校の勉強はほとんどしてないです。アメリカではヒープという家政学卒の女性集団が力を持っていて日本版もあるという。しらなかったです。グラミン銀行はアメリカにもあり、日本にもあるけど、特に日本のはイメージと違いますね…。よく知らないけど。

人生百年時代、未だ迷走中です。

まこと



ベアテ・シロタ・ゴードンさんをご存知ですか

ベアテさんは日本国憲法の草案に関わった一人です。ベアテさんは5歳のときに両親とともに日本へ移住し、15歳でサンフランシスコへ留学するまでの10年間、日本の方たちと関わり、その考え方や習慣を体感しながら成長しました。女性たちが結婚するまで、その相手をよく知らなかったり、官僚が保守的なのを実感していたベアテさんは、憲法に女性の権利を入れることに力を注ぎました。

現在、憲法改正の動きが進んでいます。日本にすむ個人国民を権力から守るための憲法を、権力が個人をしぼるものに変えようとしています。

自民党の改憲草案で憲法はどう変わる？→ <https://kaikensouan.com>



日本国憲法を「みっともない憲法」や「押し付けられた憲法」とよぶ声がありますが、当時のどんな方たちによって、どんな想いで作られたのでしょうか。

ベアテさんへのインタビューを公開しているwebページを紹介します。読んだことがない方はもちろん、読んだことがある方も、いま改めて読んでみてください。日本語とEnglishで読めます。音源があるので聴くこともできます。

ベアテ・シロタ・ゴードンさんロングインタビュー→

<http://www.shinyawatanabe.net/atomicssunshine/>

BeateSirotaGordon/interview



インタビューをし、テキスト化して公開し、いつでもアクセスできるようにして下さった渡辺真也さん、伊藤剛さん、そして関わったすべての方々に感謝いたします。こうして大切な仲間にシェアできることをうれしく思います。

本が読めて、もっと詳しく知りたい方には、ベアテさんの著書『1945年のクリスマス』を読んでみてください。

さの

ひとことメッセージ

① NHK「新プロジェクトX～挑戦者たち」～小惑星探査機はやぶさ 奇跡の地球帰還～を観た。

2010年6月13日、はやぶさが7年ぶりに地球に戻って来た時、私は既に翌年の雇止め（同じ会社で5回目の雇止め通告だった）を通告され、当時ハラスメントにも遭っていて、酷いつつ状態でいた。地球に還って来たはやぶさと、はやぶさが打ち出したカプセルの大気圏突入。はやぶさが燃え上がり、一瞬大きく輝き、無数の小さな破片（火の欠片）となって散って行くその前を、カプセルが輝きつつ軌跡を残しながら一筋に奔って行くのを見て、ああ、次の時代、未来への希望だ、と思った。希望そのものだと。勤め先自分用のPCの壁紙にその画を入れて、以後の日々を乗り越えた。今、もう一度はやぶさの物語全てを振り返って、はやぶさのために泣きました。

② 自民党総裁選に出馬している小泉進次郎氏が「解雇規制を緩くしよう」と政策を打ち出し、「そんなこと、とんでもない。」と各所が反発、紛糾しているなんてことをメディアが流したが、「何を言ってるのよ、現実を知らないのよね、あんたって。」とテレビ画面の小泉氏にぶち上げる私もいる。

昨日、相談者と面談した。珍しく、日本人。派遣社員。「私傷で5日間ほど休んだら、『いつ直るか分からないようだから、契約を切ると派遣先に言われたので、明日から出勤しなくていいからね』と担当者に言われた。契約期間はまだひと月以上残っているけど、『そこまできると社会保険料も払ってもらわないといけなくなる。今のうちに辞める方がいいでしょ？いつ辞めることにしようか。』だって。どうしたらいい？」（相談者）

派遣先は派遣元担当者に告げるのに、はっきり『即日解雇です。』（派遣先）と言ったそう。雇用関係とかの正確な所はともかく、実質の即日解雇。本人の負傷への配慮もなければその釈明なんか聞くまでもなく、こんな程度で行われる現実。解雇規制を

緩くしようどころか、バサバサと切られている現状を、坊ちゃん、想像もしてないだろ？労働者本人が法律とか知らなかったり、声を上げなければ、ただ放り出されるだけ。このうえ解雇規制を緩めたりすれば、事業者は大手を振ってこんなことを繰り返すだけ（そして労働者はどんどん貧しくなって行くけど、これって日本が貧しくなって行くことに他ならない）。

相談者には「派遣元がしているのは退職勧奨だから、応じてもいいなら、退職条件を派遣元に突き付けてね。」と回答。すると、相談者は、そこまでは自分で既にやっていた。良かった。ちなみに、派遣先は世界に冠たる大自動車会社のひとつです。…あ。そうか。小泉の坊ちゃんの世界には派遣社員という非正規労働者はいないのか。初めから『人』でもないのか。

③ 去年の今頃、産前休業に入る直前に契約を切れようとした派遣社員。ユニオンが入り、雇用契約が継続された。赤ちゃんも無事に生まれ育って、もうすぐ育休終了時期を迎える。派遣元が「育休延長があるなら知らせて。」と通知して来た。ここまで支援して来られて、本人にも「感謝！」と言われ、感無量。とりあえず一人打ち上げをしようかな♡ 育休延長にはなりそうだけど。

④ 先回の通信、ひとことメッセージにあっこさんが『…自分の決断に人から背中を押してほしいときってどうしてもある…』と書いていらした。うんうん、うん、と首を大きくタテに振りました。

(ローズマリー岡本)

入院中の母を見舞うと、出し抜けに、あなたはついにスパイになれなかったわねーえ？などと言われる。は？スパイになりたいなんて思ったこともありませんけど？とマジレスしてしまい、にやっと笑われる。こめかみを指さし、ここのできが違うのよ、と言われる。それって頭が悪いってこと。

誰もスパイにならざるを得ない、監視されている、と妄想がエスカレートしてい

く母の横で、母にとっては自分は期待外れだったんだな、と思い知らされ、私はがっかりする。

たしかに自分も、監視社会を許すななどと日頃息巻いているのだから、母の妄言を間違いとは言えない。母は正しい。やれやれ。 (なかばみちこ)

マンガ『喫茶 行動と人格』(田房永子著)に出てくるエピソード、浮気をめぐる話し合いが平和に終わって驚いた。

母親同士の挨拶エピソードも。

すごい。いったい何をどう話したらそうなるのか。

それは、「行動」と「人格」を分けて、話を進めていたからだって。

「あなたってクズ」「あなたは若いから」「それがフツー」「非常識だ」という人格(評価)ではなく、「キスした」「挨拶しなかった」という行動(事実)について話すように促し、その理由や気持ちを話したことで、互いの理解が進んだみたい。

そういえば、話し合いがうまくいかなかったとき、わたしは人格否定の方に意識が引っ張られてたなあ。自分をかえりみれた。

ネットで一部を試し読みできるので、関心を持った方は読んでみて。 (ビビビ)

私は、65歳からサービス付き高齢者向け住宅で、ケアスタッフとして働いています。丸2年になりました。仕事は主に認知症の方や病気で身体が思うように動かない方の食堂誘導や服薬、生活全般の見守りと声かけ、介助で、その方の起床から就寝の支援をしています。毎日、エレベーターを使用しても12000歩以上動きます。

2年間に10人以上の方が亡くなりました。なんだか虚しい気分でしたところ、偶然テレビで、『こころの時代 ヴィクトール・フランクル それでも生きる意味はある』を見ました。

ナチスの収容所において『夜と霧』を書いた精神科医の彼は、“それでも人生にイエスという”のです。生きることに意味がある。私は今、ここで何をしなければいけないのか、どんな自分でありたいかをあらためて考えてみようと思いました。(あられ)

Facebookに、「慈善活動が大好きです。ホームレスを助けるのが大好きです」という見知らぬ方からの友達リクエストが表示され、それを見たのが退屈な会議中だったのだが、血が逆流して絶叫しそうな絶望感で何もかもがフリーズしたけど、素知らぬふりで会議で発言。

お前が大好きなのは、慈善活動じゃなくて慈善活動しているお前なのでは。だいたいさ、好き嫌いで語ることなの？

友達リクエストされた私が悪いのだ、などという考えが認知の歪みだとわかっているけれど、この思考のループから抜け出せなくて、こうやって書いたら離脱できるかもしれないと思って、書きました。 (なかばみちこ)

「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」

この憲法14条は、ベアテさんが草案した条文の1つです。

さて、日本国憲法が施行されたとき、沖縄はそこに含まれていましたか？

私はその問いにハッとしました。そうです。沖縄は1972年までアメリカに占領統治されていました。

自分が、年齢やジェンダー、セクシュアリティ、国籍やルーツ、在日朝鮮人、沖縄、アイヌなどの民族、被差別部落、仮放免、障害、病気、職業で差別していないつもりでもしてるし、何もしなければ加担していると同じと改めて思いました。

身近な誰かと話すだけでも大事なアクション。勇気をもってやっ払いこう。

(さの)

メッセージ募集に応えてくださったみなさん、ありがとうございました。

あなたのひとことも載せてみませんか。1つといわず、いくつでも。

ふと思いついた時に、右下の宛先へメールにてお送りください。

お待ちしております。

宛先▶tsushin@acw2.org

主な活動報告(8~9月)



8月5日(月) 全国ケア会議

8月7日(水) 会計作業

8月9日(金) ちまちま手仕事の会 5人

8月10日(土) ケアデモ実行委員会

8月17日(土) 第4回 相談員トレーニング 受講生10人

8月23日(金) ホームヘルパー国賠訴訟 最高裁 上申書提出行動

8月25日(日) 性と私を語る会

8月26日(月)~28日(水) かもす通信発送作業

8月28日(水) ZOOM 読書会 「分断されないフェミニズム」第1章前半 6人

9月3日(火) 会計作業

9月6日(金) 全国ケア会議

9月7日(土) ACW2 ホットライン相談員 振り返り

9月14日(土) ケアデモ実行委員会

9月16日(月) 「こんなはずじゃなかった介護保険、私たちのケア社会をつくる」集会
8時間ぶっ通し介護保険マラソン 主催：ケア社会をつくる会など多数
約5000人視聴

9月18日(水) ZOOM 読書会 「分断されないフェミニズム」第1章後半 5人

9月21日(土) 第5回 相談員トレーニング 受講生10人

9月24日(火) 研究調査協力 「反貧困運動、派遣労働問題中心に」

9月 早稲田大学生 取材

毎月5日、10日、15日、20日、25日、30日 はたらく女性のホットライン

編集後記

■ 相談員トレーニングが今年度終了。2025 年は1 月開講です。最後までロールプレイづくしでした。人は理屈ではなく自分の体験と結びつけて学ぶことは大きな力になるということを体感していきます。誰かが誰かを変えることは不可能。他者の価値観を受けとめて相手にリスペクトすることが大事と思いました。ACW2 は誰かを救済する事を目的にしていなくて初心に戻って確認しました。かもす通信もようやく書き手がリスペクトして学びあえるように対話型で編集できるようになってきたと思います。(み)

■ 最初の再審申立てから 43 年、袴田巖さんの無罪が確定した。ここまで時間がかかった最大の要因は、結論を左右する証拠について検察側の開示ルールがない再審法(刑事訴訟法の再審規定)の不備にあるそう。翻って、先日見た、ある契約社員の雇用契約書。時間外労働の欄に『1 日 15 時間まで』と書かれていた。労基法に1 日にできる時間外労働についての定めはない。つまり、実行されても違法じゃあない。でも、何か納得がいかないこの記載。そろそろ、秋(お)

■ 人は、話したり、書いたりする時に、そこにどのような思いや目的を持っているのでしょうか？自分の体験、気持ちや考えを聞いて欲しい。この情報を伝えたい。困っている問題を解決したい等。他にもいろいろあるかもしれません。言葉や文章で、何かを人に伝える時、そこにある自分の思いや目的を考え、意識することは、受け取ってくれる側に、手を差し伸べる行為のようのように思えます。私のこの一文は、私の目的(体験を通して考えたこと)をうまく伝えられているかな(笑)(さ)

■ 韓国の作家ハン・ガンさんがノーベル文学賞受賞とのニュース。済州島四・三事件を扱った『別れを告げない』も、光州事件を扱った『少年が来る』も、作者が事件を作品に利用しているような違和感はまったくなく、むしろ、かき消されてしまいそうな声に作家が耳をそばだて、受け取った言葉を私たちに読ませてくれている、と感じさせる。もちろんそのような作品と引き較べるべくもないのですが、しかし翻って我々が「かもす通信」も、かそけき声を聞き逃さない媒体でありたいよね！と改めて。(み)

■ 今号に寄せられた文章に対して、こういう話が聞きたかった、とても大切、力作という意見と、よくわからなかった、苦しくなったという意見が出ました。詳しく聴いたら、ACW2 の活動を伝えたいというニーズが見えてきました。文章を書いたご本人ともやり取りしました。対話を醸すきっかけをありがとう！個人のことが世界につながっていることも、活動を伝えるのも大事。通信の今後のことを話す「かもす通信をかもすミーティング」を ZOOM で開催することになりました。関心を持った方は参加お待ちしております。(さ)

相談員トレーニング



相談する側も相談される側も
共にエンパワーされる支援をめざします！



2025年度 1月～6月 全6回

はたらく女性の全国センター（ACW2） 主催

日程：毎月土曜日 PM13：00～17：00

- 第1回 1月11日 センター棟 307号室
- 第2回 2月8日 センター棟 307号室
- 第3回 3月8日 センター棟 306号室
- 第4回 4月12日 センター棟 306号室
- 第5回 5月10日 センター棟 106号室
- 第6回 6月14日 センター棟 307号室

- ※ プログラム内容は裏をご覧ください。
- ※ 2020年迄夜間2回分を1回分相当の内容
- ※ 補講の方も申し込みください。
- ※ 場所：オリンピック記念青少年総合センター
- ※ 料金：会員 24,000円 一般 36,000円（一括）
- ※ 1回ごと分割払い会員・一般とも 6000円
- ※ 公的相談員 40,000円（一括）
- ※ 参加者：先着順 10名（支払い方法/要相談）

（随時受付）

私たちは耳を傾けるためにここにいる

ミラクルを起こすためではない

私たちは彼女が何をどう感じているかを知づけるよう手伝えるためにここにいる

彼女の感情を取り去るためではない

私たちは一緒に次のステップを考えるためにここにいる

彼女に必要なステップを奪うためではない

私たちは彼女が彼女の強さに気づけるよう手伝えるためにここにいる

彼女を救済し、傷つきやすい状態のままにするためではない

私たちは彼女が彼女自身を自分で支えることができることに気づけるよう手伝えるためにここにいる

彼女の責任を代わりに請け負うためではない

私たちは彼女が自分で選択することを身につけられるよう手伝えるためにここにいる

難しい選択をする機会から遠ざけるためではない

私たちは変化に必要な支援を提供するためにここにいる

（作者不明）

はたらく女性の全国センター（ACW2）共育グループ

<お問い合わせ> はたらく女性の全国センター（ACW2）

電話：03-6803-0796

FAX：03-6803-0726

Education@acw2.org

下記の申込書に記入の上 FAX またはメールアドレスに申し込んでください。

ふりかな 名前	電話番号
住所 〒	—
E-mail	補講の場合 参加希望の回

ACW2主催 相談員トレーニング 2025年1月11日～6月14日 13:00～17:00

回	日程	時間	相談スキル <テーマ>	<目的>	担当者
1	1月11日	13:00～17:00	オリエンテーション:ACW2とは?/ホットラインについて/講座について/傾聴ローカルプレイ/傾聴について講義①	ACW2やホットラインについて紹介。講座について説明。傾聴ローカルプレイと傾聴講義①(相談して良かったこと・悪かったこと、安心感・安全感を与えるコツ、Non-judgmentalな姿勢とは?)	オリエンテーション: 伊藤 講座: 高山
2	2月8日	13:00～17:00	傾聴について講義②	第1回復習/ Genuineness (真であること)/ 共感とは?(ローカルプレイ)/ アドバイスの落とし穴/ アドバイスと情報提供の違い/ 傾聴ローカルプレイ(相談員対応を批判してみる)	高山
3	3月8日	13:00～17:00	質問スキル	第2回復習/ 意思の疎通の妨害になる言葉や言い回し/ 使えるフレーズ/ 自由回答式質問について/ 現実や事実と向き合わせるプロセスと質問スキル/ 相談する側と相談される側の力関係/ 質問実践ローカルプレイ	高山
4	4月12日	13:00～17:00	実践ローカルプレイ	第3回復習/ 電話の出方/ 相談票について/ 質疑応答/ ホットライン相談対応ローカルプレイ/ 希死念慮を持つ相談者対応について	高山
5	5月10日	13:00～17:00	ハラズメント被害者対応について	ハラズメントとは? / ハラズメントローカルプレイ / ハラズメントの構造 / ハラズメント被害者の心理 / Noと言えなくてもできること / 二次被害のリスク / ハラズメント被害からの回復 / ハラズメント被害者対応ローカルプレイ	高山
6	6月14日	13:00～17:00	困難事例/ デイズエンパワリーしないために必要な意識	PTSDとは? / うつに関する豆知識 / 困難事例対応 / デイズエンパワリーしないための意識 / 相談者の力を信じる / 支援に関する詩 / スーパービジョンについて / まとめと質疑応答	高山

講師プロフィール: 高山 直子(タカヤマ ナオコ)

女性問題専門カウンセラーとして、大学のハラズメント専門相談員、東京都の労働相談情報センターの健康相談員として活動。米国で女性学とカウンセリング学の修士取得。NPO法人サポートハウスじよぶのカウンセラーとして11年活動後、2017年5月に東京代々木に『カウンセリング&サポートサービスマン』を開設。2022年公認心理師資格取得。セクハラなどの性的被害やDV、女性の労働問題を専門にしているが、「自己尊重」コミュニケーション「メンタルヘルスマネジメント」に関する支援「ハラズメント」をテーマにした講演、ワークショップ多数。著書に『働く人のための「読む」カウンセリング』(研究社)。



小グループ活動の 連絡先

運営系小グループ

- 連絡調整 office@acw2.org
- 事務・会計 Administration@acw2.org
- かもす通信・広報 tsushin@acw2.org
- 協同組合(案)検討 FY@acw2.org

事業系小グループ

- ホットライン hotline@acw2.org
- 講座など共育 Education@acw2.org

会員相互交流グループ

- 読書会 bookdiscussion1@acw2.org
- 性と自分を語る会 sexushariti@acw2.org
- ちまちま手芸の会 join@acw2.org
- 映画をみる会 (他、準備中)

映画を見る会、小グループ活動への参加や設立ほか、さまざまなご相談は、
連絡調整グループ → office@acw2.org (佐野)までご連絡ください。

はたらく女性の全国ホットライン 0120-787-956

毎月0と5のつく日 5・10・15・20・25・30日

平日 | 18:00~21:00 土日祝 | 14:00~17:00

会員のあなたもぜひご利用ください。毎月5日はセクハラ集中相談日

住所 | 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-11-16 千葉グリーンハウス201号室

TEL | 03-6803-0796 FAX | 03-6803-0726 e-mail | office@acw2.org

HP | <http://www.acw2.org> X | <https://x.com/acw2org>

正会員資格 | 女性であること(性自認が女性であることを含む)

正会員年会費 | 年間 3,000円 / 5,000円 / 10,000円 (年収の変化に応じて選択してください)
生活困窮者 2,000円

通信/サポート会員 | 1口 3,000円 (何口でも。性・性自認を問わず誰でも歓迎)

郵便振込 | 00130-1-669637

銀行口座 | 三井住友銀行 渋谷支店 普通 8658522

感想など
会員のおたよりを
お待ちしております

この気持ちを伝えたい、このテーマで書いてみたいなど、思い立ったら
ぜひ下記メールアドレス宛にご連絡いただけると嬉しいです。

※編集メンバーも募集中。ご連絡お待ちしております →→→ tsushin@acw2.org

2024年10月発行 第62号/編集・発行 はたらく女性の全国センターACW2

ホームページ、ツイッター、会員メーリングリストで毎日情報更新中